

■電車／小田急線・JR南武線登戸駅徒歩3分

■バス／川崎市営バス

※菅生車庫、神木本町方面から

登05系統 登戸行き「登戸」下車（登戸駅南北自由通路を渡ってください）

登06系統 カリタス学園行き「多摩病院前」下車

※カリタス学園方面から

登06系統 菅生車庫行き、又は鷺ヶ峰営業所前行き「多摩病院前」下車

登21系統 新船島橋行き「多摩病院前」下車

※西菅団地、城下方面から

登14系統 登戸駅行き、又は向ヶ丘遊園駅入口行き「登戸駅」下車（登戸駅南北自由通路を渡ってください）

■車／市道小杉管線を宿河原方面から左折していただき地下駐車場をご利用ください（178台収容 有料）

## 川崎市立多摩病院



指定管理者 聖マリアンナ医科大学  
学校法人

〒214-8525 神奈川県川崎市多摩区宿河原1-30-37

TEL.044-933-8111 (代表)

<http://www.marianna-tama.jp>



KAWASAKI MUNICIPAL TAMATE HOSPITAL



## 川崎市立多摩病院



指定管理者学校法人

聖マリアンナ医科大学



学校法人 聖マリアナ医科大学  
理事長  
明石 勝也

聖マリアナ医科大学は1971年に創立され、以来50年にわたり川崎市北部地域をホームタウンとして歴史を重ねてまいりました。平成18年に三番目の川崎市立病院として開設された多摩病院の指定管理者として本学をご選択いただきましたことは大学50年の歴史の中でも特段に誇らしいことでもあります。

開設当初から特定機能病院である大学病院と地域医療支援病院である市立多摩病院が緊密な連携をとり、地域医療の充実を図ることが地域の方々への最大のメリットと考え、地域医師会の先生方にも多大な協力をいただき今日に至っております。この間も救急医療の充実強化や病院の総力を結集した総合診療体制の構築など、より良い方向への改善にも努めてまいりました。

新型コロナウイルス感染症に対しても発熱外来、中等症から重症例の入院治療、小児、妊婦への対応まで、大学病院とのリアルタイムでの連携機能をフルに生かし、通常診療や救急医療も制限せずに地域医療を守り続けることができました。

これからも市立病院としての市民の方々のご期待に十分お応え出来る病院へと発展させてまいります。何卒ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



川崎市立多摩病院  
病院長  
長島 悟郎

川崎市立多摩病院は、平成18年2月に全国で初めて私立医科大学が指定管理者として設立された川崎市3番目の市立病院です。平成23年には地域医療支援病院に指定され、平成27年からは基幹型臨床研修病院として、また、平成28年には歯科単独型臨床研修指定病院として、地域医療を守るだけでなく、質の高い医師の養成にも力を注いでいます。

10床の集中治療室を備えた救急災害医療センターを併設し、開院当初より小児救急を含めた川崎市北部の救急医療を担っており、平成29年には総合診療センターを新設し、救急医療体制の拡充に努めています。さらに、がんを含めた悪性疾患の治療でも、平成29年から外来化学療法室を10床に増床するとともに、腫瘍内科および血液内科の診療体制を充実させ、市民のニーズにしっかりと対応してまいりました。

喫緊の課題である新興・再興感染症対応を含め、今後も地震や火災、洪水などの大規模災害にも対応できるよう日々訓練を続け、安心・安全な医療を地域へ提供しつづける市立病院として、全職員一丸となって努力してまいります。何卒宜しくお願い申し上げます。



屋上ヘリポートから見る多摩川

# 理念

私たちは、市民がいつでも、安心して満足できる、愛ある医療を提供します。

## 病院の基本方針

医療スタッフ連携のもとに最適な医療を提供します。  
 24時間、365日、救急・災害時医療を提供します。  
 地域の医療・保健・福祉と密接に連携します。  
 市民の健康保持増進と疾病予防に努めます。  
 良質な医療を行う医療人を育てます。  
 環境に優しい医療を提供します。  
 医療資源を大切にし、効率的に運営します。  
 安全で安心な医療を提供できる職場環境を作ります。

## 患者さんの権利と責務

### I 権利

どなたも平等に、適切な医療サービスを受けられます。  
 病気と治療について、十分な情報と説明を受けたうえで、治療の方針をご自分の意思で決められます。  
 医療者の教育や実習・研究的治療への協力を求められても断れます。  
 意思に反する医療の提供及び教育・研究への協力を拒否しても、何ら不利益を被ることはありません。  
 診察情報が保護されたプライバシーは尊重されます。  
 診察に関する記録の開示を受けることができます。  
 セカンドオピニオンを求めることができます。

### II 責務

ご自分の体調等の情報を正確に医療者に伝える責務があります。  
 治療方針の決定について、ご自分の意思を明らかにする責務があります。  
 治療に必要な診察上の指示を守る責務があります。  
 病院の快適な療養環境を維持する責務があります。



### 患者さんへのお願い

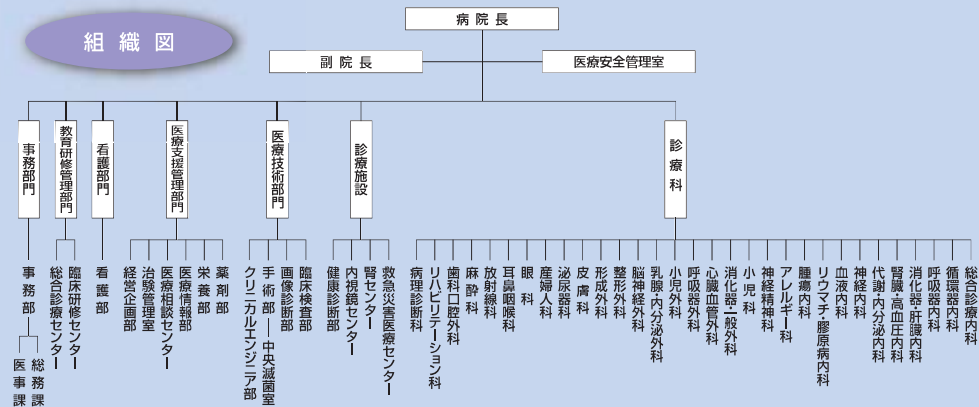
※院内での暴言・暴力や迷惑行為、および器物破損行為を禁止します。  
 ※診察を阻害するような迷惑行為などがあった場合、ご自分やご家族の意思に関わらず診察をお断りし、退去していただくことがあります。

病院の安全を守り、診察を円滑に行うと共に、最善の医療を提供するために、ご協力をお願いいたします。

## 診療科目

- 総合診療内科
- 循環器内科
- 呼吸器内科
- 消化器・肝臓内科
- 腎臓・高血圧内科
- 代謝・内分泌内科
- 神経内科
- 血液内科
- リウマチ・膠原病内科
- 腫瘍内科
- アレルギー科
- 神経精神科
- 小児科
- 消化器・一般外科
- 心血管外科
- 呼吸器外科
- 小児外科
- 乳腺・内分泌外科
- 脳神経外科
- 整形外科
- 形成外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- 歯科口腔外科
- リハビリテーション科
- 病理診断科

## 組織図



## 子どもの患者さんの権利に関する事項

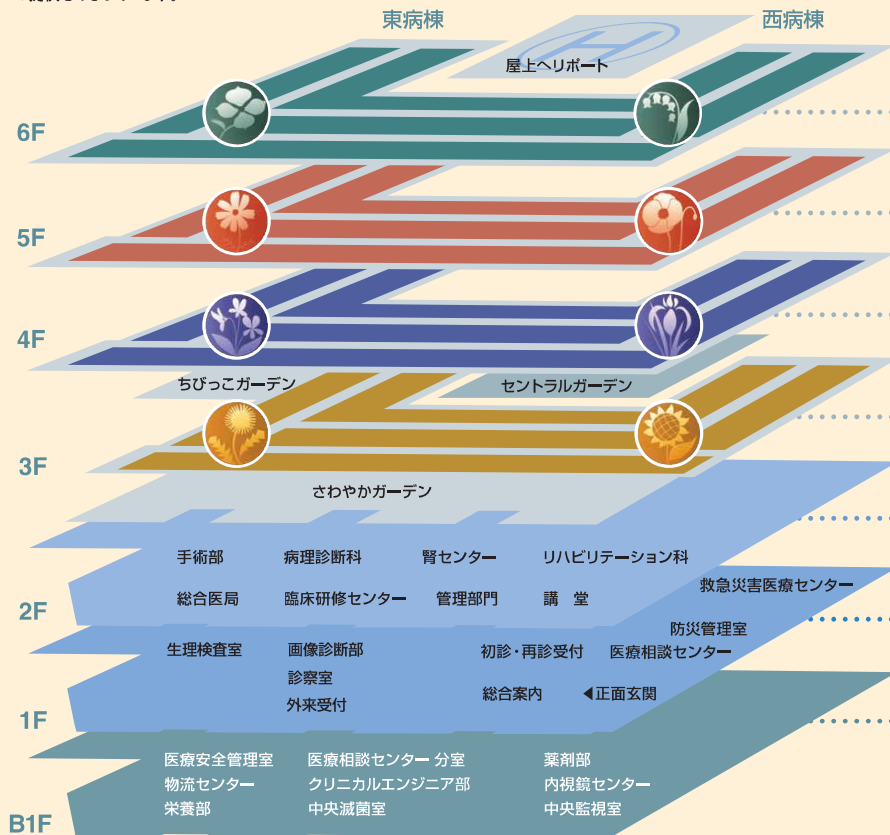
あなたは、いつでもひとりの人間として大切にされ、あなたの成長や発達のこと(大人へと育っていくこと)をどのようなときにも一番考えた医療(病気を治してもらったり辛さを軽くしてもらったり)を受けることができます。この病院では、このような考え方でつくった「子ども患者憲章」(あなたのために、病院の人やあなたのご家族そしてあなた自身も守らなければならない決まりごと)を守って、あなたを助けていきます。

### 「子ども患者憲章」

1. あなたは、どのような病気にかかったときでも、ほかの人と同じように医療を受けることができます。
2. あなたは、どのようなときでも、ひとりの人間として大切にされ、病院の人たちやご家族と力を合わせながら医療を受けることができます。
3. あなたは、病気のことや病気を治す方法を、あなたがわかることばや物などを使って、病院の人に教えてもらうことができます。
4. あなたは、病気のことや病気を治す方法について、十分な説明を受けたうえで、自分の考えや気持ちを病院の人やご家族に伝えることができます。
5. あなたは、わからないこと、心配なことや不安なことがあるときは、ご家族や病院の人たちに聞いたり、話したりすることができます。
6. あなたが話したことやあなたの病気について他の人に知られたくないことは、あなたの同意なしには話しません。
7. あなたは、入院していても、勉強したり、遊んだりすることができます。
8. あなたは、病気を治す方法や薬が効くかどうかなどの研究への協力を頼まれたときには、十分な説明を受けて、協力するかどうかを自分で決めることができます。やめたくなれば、いつでもそれをやめることができます。決めるときに、わからないことや不安なことがあるれば、ご家族や病院の人たちに聞いたり、話したりすることができます。
9. あなたの病気がよくなるように、あなたのからだや気持ちのことをできるだけわしく病院の人たちに伝えるようにしてください。
10. あなたとみんなが気持ちよく過ごすために、病院の約束を守ってください。

# 概要

当院は24時間365日の救急医療・小児救急医療・災害時医療を主軸とする、急性期医療を担う中核的な医療機関です。川崎市北部の医療ニーズに的確に応えるため、救急災害医療センターを始め多様な診療施設や、総合医療情報システム(電子カルテ)などの最新システムを導入。また、地域医療支援病院としても認定され、全スタッフが「丸」となっており、最良の医療の提供をめざしています。



<p>6F東病棟 ワークステーション/病室/観察・処置室 48床 デイコーナー</p>	<p>6F西病棟 ワークステーション/病室/観察・処置室 48床 デイコーナー</p>	6F
<p>5F東病棟 ワークステーション/病室/観察・処置室 48床 デイコーナー</p>	<p>5F西病棟 ワークステーション/病室/観察・処置室 48床 デイコーナー</p>	5F
<p>4F東病棟 ワークステーション/病室/観察・処置室 48床 デイコーナー</p>	<p>4F西病棟 ワークステーション/病室/観察・処置室 48床 デイコーナー</p>	4F
<p>3F東病棟 ワークステーション/病室/観察・処置室 48床 デイコーナー/プレイルーム/ちびっこガーデン</p>	<p>3F西病棟 ワークステーション/病室/観察・処置室 30床 デイコーナー/NCU/新生児室/分娩室</p>	3F
<p>リハビリテーション科/腎センター/麻酔科/外来化学療法室/日帰り手術/手術部/検体検査室/病理診断科 医療情報部/管理部門/総合医局/臨床研修センター/図書室/講堂</p>		2F
<p>ICU・CCU 10床 総合案内/西外来/東外来/臨床検査部/生理検査室/画像診断部/医療相談センター/医事課/健康診断部 救急災害医療センター/集中治療室/防災管理室/赤ちゃん休憩コーナー/コーヒージョップ</p>		1F
<p>医療安全管理室/医療相談センター 分室/内視鏡センター/薬剤部/クリニカルエンジニア部 栄養部(厨房)/物流センター/中央滅菌室/中央監視室/売店/MC室</p>		B1F

## 建設概要

- 病床数** 376床
- 規模** 病院棟 SRC(免震構造) 地下2階 地上6階 塔屋1階  
駐車場棟 RC造 地下3階 地上1階
- 面積** 敷地面積 14,260.73㎡  
建築面積 6,826.20㎡  
延べ面積 35,620.15㎡
- 駐車台数** 178台
- 設備の特徴(省エネルギー手法)
- ・コージェネレーションシステム: 都市ガス、ガスエンジン400KVA×2基
  - ・燃料電池: 都市ガス、リン酸型200KW×1基
  - ・蓄電池設備
  - ・水蓄熱空調システム: 夜間の安価な電力利用
  - ・中水道設備: 屋根降雨及び雑用水を処理し、トイレ洗浄水として利用
  - ・太陽光発電システム: 20KWをマルチパネルに組み込む
  - ・大温度差空調システム: 搬送動力の低減
  - ・ガスタービン発電装置 1,000kVA
- 災害時対策設備
- ・免震構造: 病院棟
  - ・耐震構造: 駐車場棟
  - ・水の備蓄、汚水の貯留: 約7日分の水量を貯留できる水槽を設置
  - ・医療ガスの備蓄: 各ガスとも7日分の容量を確保
  - ・燃料の備蓄: 地下オイルタンクに灯油を約7日分備蓄
  - ・重要機器の電源二重化
  - ・熱源機器、空調機器の分割: 2台設置、相互バックアップ体制
  - ・浸水対策: 非常用発電機、サブ変電所、医療ガス機械室などを上層階に設置
  - ・屋上ヘリポート

## 建築設備



●太陽光発電



●免震構造



●屋上ヘリポート



●屋根付き歩廊



●燃料電池



●コージェネレーションシステム

# 地域住民のための救急医療とプライマリーケア

## 救急災害医療センター

### 24時間365日体制で、迅速・的確に対応する地域の中核センター

当院の特色である一次・二次救急医療、小児救急医療、災害時医療に対応するセンターです。24時間365日体制で、小児科を含む全科対応型の救急医療施設となっています。ここは処置室2室、予備室1室、集中治療室（ICUおよびCCU）10床と一般診察室3室、婦人科・泌尿器科診察室1室、外来観察ベッド10床を有しています。救急外来では救急の主要な疾患に迅速に対処するため、救急専任医と小児科、循環器内科、脳神経外科の専門医が24時間、救急隊とホットラインで連絡をとり対応します。救急外来へ直接来院した患者さんへの時間外診療も実施。救急処置後の入院も受け入れています。

ICUでは①二次救急②単一診療科で診療可能な三次救急③院内発症救急④手術後にICU管理を必要とする合併症例などの患者さんの集中治療を、CCUでは循環器内科救急の集中治療を行っています。また、地震等の災害時における医療提供の拠点として機能できるよう屋上にヘリポートを設置、救急医療のための体制が整えられています。



●ICU/CCU  
集中治療室（10室）を備え、電子カルテシステム・生体監視モニターで患者さんの全身管理に対応



●屋上ヘリポート  
地震などの災害時や救急医療に対応



●受付



●処置室



●救急車搬送

## 医療相談センター

### 徹底した相談、対話・地域連携の充実を目指す

医療相談センターは、患者さん中心の医療サービスを実践する部門です。

当センターは、医師、看護師、ソーシャルワーカー、メディカルコーディネーター、事務職員が協働し、各種医療福祉制度の活用、退院後の療養に関する相談、受診・入院に際して感じられた疑問・ご意見や情報開示に関する相談などに対応しています。また管理栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など多職種と協力して患者さんのさまざまな問題に対処しています。

平成23年3月からは、地域医療支援病院の承認を受け、地域連携の窓口として積極的に活動しています。当院と協定を締結した診療所を登録紹介医とし、登録紹介医からの紹介患者さんを積極的に受け入れています。そして、当院の治療が終了した時点で紹介元の医師に患者さんを逆紹介し地域連携の充実を図っています。

市民の皆様健康維持増進に向けては、疾患に関する講義を中心とする市民健康講座や体験しながら学ぶミニ市民健康講座を定期的に開催し、地域に密着した活動を力を入れています。



●予約検査説明受付  
各検査室に向くことなく、すべての予約検査の説明・質問に対応

### 地域包括ケアシステム



●医療相談センター



●相談室  
プライバシーを守りながら、医療領域に関するあらゆる相談を実施

# エントランスエリア

## 市民の皆さんに親しまれる病院を目指して

「自然のぬくもり、人のやさしさを感じさせるヒューマンスケールな施設」を設計のコンセプトに、従来の無機的な医療施設のイメージを一新しています。エントランス空間は広々として、ホール内は白と木目を基調とした内装、総合案内ホール壁面は木の葉をモチーフとしたガラスレリーフで装飾されモダンななかにも温かみのあるデザインとなっています。来院される患者さんの気分をよわらげ、地域の皆さんに親しまれる病院でありたい。エントランスエリアは、そのシンボルでもあります。



●総合受付カウンター  
木の温かみを感じる開放的なカウンター



●正面玄関



●総合案内  
来院者の質問にお答えする総合的なインフォメーション



●総合案内ホール



●自動再来受付機  
やさしい操作で手続きが可能



●自動精算機  
多彩な機能を備え、操作が簡単

# 外来

## 患者さんの負担を軽減、スムーズな受診を実現する外来ワンウェイシステム

当院では、総合医療情報システムのもとにペーパーレス・フィルムレスの電子カルテを採用し、迅速で確かな診療に活用しています。予約は時間帯予約(30分さきみ)で、待ち時間を短縮。受付を済ませた患者さんは、東西各ブロックの外来受付を経由して外来待合ホールで待機していただきます。中待合入口のプラズマディスプレイにご自分の番号が表示されたら中待合に進み、診療終了後は検査・会計へと進みます。「待合」→「診察室」→「検査」→「会計」が一方通行の外来ワンウェイ方式で、患者さんに分かりやすく、スムーズな移動が可能です。



●診察室  
清潔で機能的な診察室、患者さんのプライバシーも尊重



●化学療法室



●外来受付・プラズマ表示板  
見やすいプラズマディスプレイで患者さんを診察室へ誘導



●外来待合ホール  
壁面に落着きのある木製レリーフを配置、患者さんへ安らぎを提供



●外来中央処置室  
リクライニングチェア、電動ベッドで快適性、安全性に配慮

●中待合



●リハビリテーション科  
理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3部門。最新機器を導入し、各専門が患者さんを親身にサポート



●病理診断科  
細胞・組織診断を担当。術中迅速診断、病理解剖も実施し最終診断に貢献

outpatient

# 病棟

## 最適治療を実現する病棟構成、患者さんが安心できる快適な病室

病棟は3階から6階まで。8病棟に366床を擁し、機能的にレイアウトされています。また、患者さん主体の病院を実現するため、病棟全体にさまざまなアイデアが施されています。優しさや温かさを感じられるよう、各病棟は花の名前でネーミング、それぞれにカラーコンセプトも統一し、どなたにも分かりやすい病棟にしました。また、各病室・ベッドは患者さんが安心して快適に過ごせるよう細部にわたって配慮しています。小児病棟には保育士が配置され、看護師とともに一人ひとりの発育に合わせた看護を行っています。



### ●ワークステーション

病棟の中央に配置され、開放的で明るいカウンター。電子カルテに連動した看護支援システムで入院患者さんの看護過程を管理



●ちびっこガーデン



### ●分娩室

最新の設備を備え、落ち着いた雰囲気分娩室



### ●小児病棟プレイルーム

遊具が沢山あるプレイルームとちびっこガーデンが隣接。開放的で明るい空間



●個室



### ●病室

最大4床室で1床あたりの床面積が広く、室内にはトイレと洗面所を配置、廊下側のベットにも光庭で屋上から採光して明るい環境を実現



### ●LDR (Labor Delivery Recovery)

入院から出産、退院まで同じ部屋で過ごすことができる産婦人科ルーム



### ●介護浴室

寝たままでも入浴ができる浴槽。浴槽が昇降することにより安全、快適に入浴



### ●ダイニング

患者さんのお食事や憩いの場として利用





# 診療施設

## 最新鋭の設備を有し、地域医療の向上を目指す

診療施設として救急災害医療センター、腎センター、内視鏡センター、健康診断部の4つを設置しています。腎センターは血液透析ベッド24床を有し、透析の導入と維持透析を行います。当院が駅から徒歩数分という地の利が生かされ、患者さんの負担を軽減します。内視鏡センターでは、消化器および呼吸器の診断と治療を行い、最新の機器で専門的な診療を提供しています。

### 内視鏡センター



最先端の電子スコープを用いて苦痛のない正確な検査と高度治療を実施



### 腎センター（透析治療室）



透析部門中央監視システムを導入し、安全性の向上と業務の効率化を図る

### 健康診断部



川崎市の特定健診等市民を中心とした健康診断と職員健診等を実施

## 手術部



### ●手術室

手術室は6室。内視鏡手術機器・顕微鏡手術器など最新の映像モニタリングシステムを設置



## 画像診断部



### ●MR装置（磁気共鳴画像診断）

1.5T装置を2台設置、各科の診療に適した精密な画像を提供

# 医療技術部門

## 最新の設備と技術を結集、患者さん主体の医療に貢献

医療技術部門には、臨床検査部・画像診断部・手術部・クリニカルエンジニア部の4部門があります。電子カルテに連動して、迅速に精密で的確な診断が可能な体制を整備。医療機器については、現代の高度な医療ニーズに応えるハイテクノロジーによって開発された機器・装置を多数導入、地域の先端医療を支えています。これら専門的医療知識と技術で対応するとともに、さらなる研究と技術向上に取り組んでいます。

### 臨床検査部



●筋電図室



●輸血室



### ●血管撮影装置

低線量・高画質が可能なパイプラインデジタルX線撮影システム

### クリニカルエンジニア部



各種医療機器を安全・的確に運用できるよう集中管理するセクション

# 医療支援管理部門

診療サポートと病院運営・管理業務を各部が連携して推進

薬剤部、栄養部、医療相談センター、医療情報部、治験管理室、経営企画部の6部門で構成されています。いずれも患者さん主体の医療と安全・的確な病院運営のために連携して業務を推進しています。

## 薬剤部



●注射薬自動払出器  
電子カルテシステムと注射調剤支援システムが連動し、迅速・正確に調剤



●治験管理室

## 栄養部



常に衛生面に配慮し、食事提供と栄養・食事管理をサポート

# 看護部門

## 看護部



急性期医療と救急災害時医療に的確に応じる質の高い看護を目指す

# 教育研修管理部門

## 臨床研修センター



卒前教育から初期研修をサポートし、病院全体で生涯教育を提供



# サポート施設

環境との調和を考えた、使いやすい各種施設を完備

当院は患者さんご家族、医師および看護師をはじめとする医療スタッフ、病院の運営スタッフ、関連業者など、多様な人々が関係し、また複合的な機能を有する施設です。各種のサポート施設は、それらがバランスよく機能し、安全・快適に維持されるよう配慮されています。社会的・公共的施設であり、生活空間でもある院内は、「自然」をイメージするデザインで統一され、周辺環境との調和も図られています。また、いざというときの防災体制も病院全体で整備しています。



●セントラルガーデン  
3階の中庭、多摩川の流れをイメージした白砂と緑による美しいガーデン

●さわやかガーデン  
3階の屋上庭園  
患者さんに「癒しの空間」を提供



●講堂



●コーヒーショップ



●売店



●図書室



●休憩室



●ホワイエ



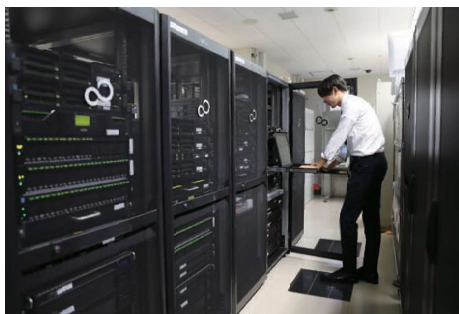
●職員食堂

# 総合医療情報システム

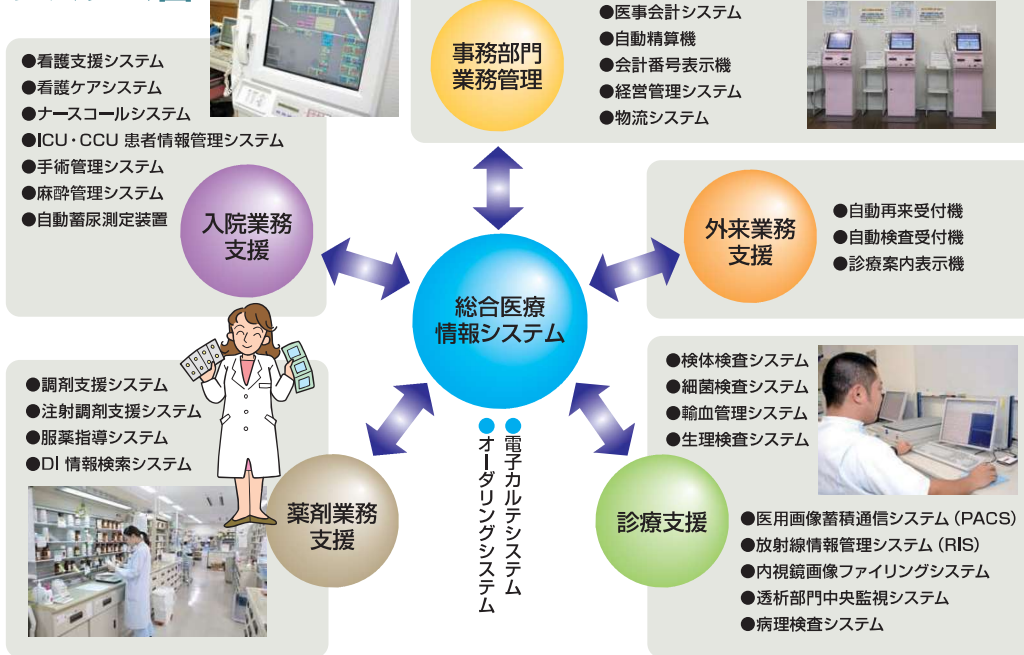
## 最新のITシステムが、安全で的確な医療を推進します

当院の総合医療情報システム (HIS:Hospital Information System) は医療情報部が窓口となり、維持・管理しています。電子カルテを中心とするHISでは、各担当者によるパソコン入力によって迅速で正確な情報伝達ができ、患者さんにとっては診療、検査、会計などの待ち時間短縮が図れます。一方、医師や看護師、薬剤師などの医療スタッフは、院内随所にあるパソコン端末を通じて患者さんの情報を閲覧・共有できるため、患者さんとご家族への病状説明などサービス向上に結びついています。

HISの活用で、患者さん個人の識別、処方や検査の重複防止、禁忌薬投与防止や薬剤情報提供によるリスク管理が可能となり、インシデント・アクシデント防止にも大きく貢献しています。また診療データを電子化して蓄積することにより各種情報の抽出と分析が可能です。HISの運用にあたっては、個人情報保護に万全の配慮を行うとともに、患者さんと医療従事者の双方にとってさらに有用なシステムの構築を目指しています。



## システム図



## 外来

### 受付

患者さんは自動再来受付機で予約を確認。30分きざみの予約のため待ち時間を短縮できます。



### 診療

テンプレート画面で素早く入力ができ、迅速な診療が可能です。いつでもカルテ入力や参照ができ、付帯作業を軽減、インフォームドコンセントにも役立ちます。



### 検査

医師の電子カルテからのオーダーにより、効率的に安全で正確な検査が行えます。



### 検査後診療

検査結果に基づき診療を行います。検査データや画像が表示され、患者さんに分かりやすく説明できます。



### 会計

患者さんは自動精算機により待ち時間を短縮でき、正確な精算を行うことができます。



## 病棟

### 医師

いつでもパソコン画面に電子カルテを呼び出し、それまでの検査結果や診療経過から診断し、次のオーダーを入力できます。



### リーダーナース

医師の指示を受け、電子カルテに連動した看護支援システムにより、患者さんに適した看護計画を立案。看護師を指導します。



● バーコードラベル (ネームバンド) 電子カルテと連動しており、入院患者さんの確認を行います。



### 担当ナース

リーダーナースの指示を受け、ベッドサイドでも電子カルテに記録できるノートPCを駆使しながら患者さんの看護にあたります。またDPCとクリニカルバスに対応しています。

